

資質・能力		単元		実施時期				質的ルーブリック（判断基準）				
				1 学期		2 学期		3 学期		考え・基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用・ひろがり (Extensions)
				過去・現在・未来，そして自分								
				切り抜 き新聞 を作る	現在に学 ぶ	沖縄の過 去・	未 来	過 去・ 現在・	る 未 来を 見据 え			
自分を客観的に見る能力		○	○	○		○	活動を通しての自分の取組や考えたことを記述することができる。	課題や設定された目標に対して，自分がどの程度達成できたかを対比させることができる。	課題への取組を通して，自分に不足している力・ついた力を評価し，自己実現の道筋を考えることができる。			
課題設定能力		○		○			研究テーマの主旨や目的を正しく理解し，現状を踏まえて課題や仮説を設定することができる。	与えられた材料や自ら得た情報を元に現状と理想の差を捉え，課題や仮説を設定し，解決につながる研究のプロセスを設計することができる。				
情報活用能力		○		○			課題に沿った情報を，適切な方法で収集することができる。	収集した情報を，目的や内容に合わせて分類し，取捨選択することができる。	分類した情報を元に，現状の分析や課題に対する解決策を提案することができる。			
論理的思考力 文章表現力		○		○		○	課題を明確に理解し，それに対する自分の考えを記述することができる。	根拠を明確に自分の意見や考えを組み込み，筋道を立ててわかりやすく伝えることができる。	自分及び他者の意見の評価を元に，課題に対する解決策を提案することができる。			
プレゼンテーション能力				○			的確な方法で，他者に正しく伝わるよう表現することができる。	具体例なども効果的に取り入れ，構成，使用する語句やツールなどを工夫して表現することができる。	具体例なども効果的に取り入れ，構成，使用する語句やツールなどを工夫し，説得力をもって表現することができる。			
意欲・態度 価値観・倫理観	「自律」「挑戦」「貢献」を実践する能力*	○	○ (I)	○		○ (I)	個々で取組むべき内容について，粘り強く，着実にこなすことができる。	グループ内での協調のもと，積極的に自己の役割を開拓し，グループ全体の活動を前進させることができる。	活動の方向性に見通しをもち，現状を評価しながら，よりよい方向へとグループ活動を導くよう貢献することができる。			
	自分事として捉える力	○	○	○		○	課題が自分や自分の将来にどう関わりがあるかを考えることができる。	課題の解決に自らどう関わるべきかを，既有の知識とつなげて考察することができる。	課題と自分との関わりを踏まえ，リアリティーのある独自のアイデアにより，有効な解決策を生み出すことができる。			
主な学習活動（協議，討論，発表等）		協議 制作 発表	協議 制作	協議 制作 発表		制作						

※五日市高校における育てたい生徒像

- 自律する ◆自ら学び続ける習慣や規範意識を身に付け，メリハリのある学校生活を送ることができる生徒
- 挑戦する ◆自己指導能力を身に付け，何事にも果敢に挑戦し，粘り強く努力することができる生徒
- 貢献する ◆実践的なコミュニケーション能力を身に付け，他者の立場に立って考え行動することができる生徒